安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名:	CDN-B ジアゾ現像液 500ml
製品コード	4385A001
会社名:	キヤノンファインテック株式会社　品質・環境本部
住所:	〒 341-8527 埼玉県三郷市谷口 717
電話番号:	048-949-2111
ファックス番号:	048-949-3009
電子メールアドレス:	―
緊急連絡電話番号:	048-949-2111
推奨用途及び使用上の制限:	ジアゾ現像液

2. 危険有害性の要約

GHS分類（※）:

物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	
皮膚腐食性・刺激性:	区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	区分1
皮膚感作性:	区分1
生殖毒性:	区分1B
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）:	区分 1（神経系、肝臓）、区分3（麻酔作用）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）:	区分 1（神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器）
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）:	区分3

※GHS 分類方式:

物理化学的危険性：国連 GHS 文書 Rev.3（2009 年版）

健康および環境有害性：JIS7252：2009（GHS に基づく化学物質等の分類方法）

GHSラベル要素:

絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
神経系、肝臓の障害
眠気又はめまいのおそれ

安全データシート

長期又は反復ばく露による神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器の障害
水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
【救急処置】
飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。
汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
【保管】
容器を密閉し、換気の良いところで施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性:

爆発性の過酸化物を生成することがある。

安全データシート

3. 組成及び成分情報

単一製品又は混合物の区分: 混合物

成分:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学特性（分子式）	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS 番号
ｼﾞｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ	45-55	$C_5H_{12}O_3$	2-422	111-77-3
プロピレングリコール	20-30	$C_3H_8O_2$	2-234	57-55-6
モノエタノールアミン	10-20	C_2H_7NO	2-301	141-43-5
メタホウ酸カリウム	3-5	BKO_2	1-66	13709-94-9
水	3-5	H_2O	なし	7732-18-5
ﾎﾟﾘｵｷｼｱﾙｷﾚﾝﾓﾉｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ	<1	非公開	7-97	非公開

4. 応急措置

吸入した場合:
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合:
直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。
医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合:
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。
医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合:
医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

最も重要な徴候及び症状:
眼、皮膚に刺激性がある。

応急措置をする者の保護:
救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

安全データシート

5. 火災時の措置

消火剤:

二酸化炭素、大量の水、泡消火剤、粉末消火剤

使ってはならない消火剤:

棒状放水

特有の危険有害性:

火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護:

消火作業の際は風上から行い、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

特別個人用保護具（自給式呼吸器）を着用する。

環境に対する注意事項:

製品が排水路に排出されないよう注意する。

除去方法:

ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。
大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:	取り扱いは換気のよい場所で行う。 ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。 炎、火花または高温体との接触を避ける。 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
注意事項:	火気を近づけない。
安全取扱い注意事項:	あらゆる接触を避ける。 取り扱い後は手洗い、うがいを十分に行う。

保管:

技術的対策:	保管場所は壁、柱、床等を耐火構造とする。
保管条件:	容器を密栓して冷暗所に保管する。 湿気を避ける。 施錠して保管する。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
容器包装材料:	法令の定めるところに従う。

安全データシート

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

管理濃度:

製品:	労働安全衛生法 管理農度	日本産業衛生学会 許容濃度(2012)	ACGIH TLV (2013)
CDN-B ジアゾ現像液	設定なし	設定なし	設定なし

成分:

メタホウ酸カリウム	設定なし	設定なし	TWA = 2.0 mg/m^3
モノエタノールアミン	設定なし	TWA = 3 ppm, 7.5 mg/m^3	TWA = 3 ppm

保護具:

呼吸器の保護具:	**■必要**	**□不要**	防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。
手の保護具:	**■必要**	**□不要**	不浸透性の手袋。
目の保護具:	**■必要**	**□不要**	保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具:	**■必要**	**□不要**	不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態・形状・色）:	無色透明の液体
臭い:	わずかに臭気あり
pH:	データなし
融点・凝固点（℃）:	データなし
沸点・初留点・沸騰範囲（℃）:	データなし
分解温度（℃）:	データなし
引火点（℃）:	112℃（クリーブランド開放式）
自然発火温度（℃）:	データなし
燃焼性:	あり
爆発範囲・爆発特性:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重（密度）:	1.03-1.06 （30℃）
溶解性:	水、アルコール、エーテルに易溶
n-オクタノール／水分配係数:	データなし
粘度（mPa・s）:	データなし
その他のデータ:	データなし

安全データシート

10. 安定性及び反応性

安定性: 爆発性の過酸化物を生成することがある。

危険有害反応可能性: 特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件: 湿気

混触危険物質: 酸化剤、その他一般的な混触禁止物質との混触を避ける。

危険有害な分解生成物: 燃焼などにより一酸化炭素，二酸化炭素等の有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性:

吸入: 情報なし

経口: 情報なし

経皮: 情報なし

皮膚腐食性・刺激性:

製品についての情報: 情報なし

成分についての情報: モノエタノールアミン 区分1A

眼に対する重篤な損傷・刺激性:

製品についての情報: 情報なし

成分についての情報: モノエタノールアミン 区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

呼吸器感作性: 情報なし

皮膚感作性:

製品についての情報: 情報なし

成分についての情報: モノエタノールアミン 区分1

生殖細胞変異原性:

情報なし

発がん性:

情報なし

生殖毒性:

製品についての情報: 情報なし

成分についての情報: ジエチレングリコールモノメチルエーテル 区分1B

特定標的臓器毒性—単回暴露:

製品についての情報: 情報なし

成分についての情報: モノエタノールアミン 区分 1（神経系、肝臓）

ジエチレングリコールモノメチルエーテル 区分3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性—反復暴露:

製品についての情報: 情報なし

成分についての情報: モノエタノールアミン 区分 1（神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、呼吸器）[1)]

安全データシート

吸引性呼吸器有害性:

情報なし

その他:

情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性:

製品についての情報: 情報なし

成分についての情報: モノエタノールアミン 水生環境有害性（急性） 区分2

残留性・分解性:

情報なし

生体蓄積性:

情報なし

土壌中の移動性:

情報なし

他の有害影響:

情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法:

適切な保護具を着用する。
地方条例や国内規制に従う。
焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。
空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号:	該当しない
国連輸送品名:	該当しない
国連分類:	該当しない
国連容器等級:	該当しない
海洋汚染物質（IMDG コード）:	該当しない
特別な注意:	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行い、法令の定めるところに従う。

安全データシート

15. 適用法令

労働安全衛生法:	名称を通知すべき危険物及び有害物: 2-アミノエタノール（モノエタノールアミン）
化学物質排出把握管理促進法（化管法）:	第一種指定化学物質 メタホウ酸カリウム（政令番号:1-405、含有量:4.4% 代表値） モノエタノールアミン（政令番号:1-20、含有量:16% 代表値）
化審法:	優先評価化学物質: プロピレングリコール、モノエタノールアミン
毒物及び劇物取締法:	該当しない
消防法:	第 4 類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性
大気汚染防止法:	メタホウ酸カリウム: 有害大気汚染物質(ほう素化合物)
水質汚濁防止法:	メタホウ酸カリウム: 政令第2条第24号（ほう素及びその化合物） 排出基準 10mg/L(B, 海域以外、230mg/L(B, 海域)

16. その他の情報

引用文献:

- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 (2012 年)
- ・米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices (2013 年)
- ・GHS 分類結果データベース; 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）

略語:

- ・化審法:化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- ・安衛法:労働安全衛生法
- ・化学物質排出把握管理促進法（化管法）:特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- ・GHS:Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (化学品の分類および表示に関する世界調和システム)
- ・JIS:Japanese Industrial Standards（日本工業規格）
- ・ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values（米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- ・IMDG コード:International Maritime Dangerous Goods Code（国際海上危険物質規則）

この安全データシート（SDS）は、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。
尚、SDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。
本 SDS は、その記載内容を保証するものではありません。